

会 議 録

附属機関又は 会議体の名称		令和元年度 第1回豊島区 生活安全協議会 セーフコミュニティ推進協議会 総合高齢社会対策推進協議会
事務局 (担当課)		政策経営部セーフコミュニティ推進室 総務部防災危機管理課(治安対策グループ) 保健福祉部総合高齢社会対策推進室
開催日時		令和元年7月12日(金) 午後3時00分～午後4時30分
開催場所		区役所1階 としまセンタースクエア
議 題		1 開会 2 総合高齢社会対策の取組みについて 3 安全安心に向けた取組みについて 4 今年度のセーフコミュニティの活動について 5 インターナショナルセーフスクールの全校化等について 6 通園・通学時等の安全を守る取組みについて 7 東池袋の自動車事故に係る慰霊碑の設置について 8 質疑応答 9 警察署長挨拶 10 閉会
提出された資料 等		資料1 総合高齢社会対策の取組みについて 資料2 安全安心に向けた取組みについて 資料3 今年度のセーフコミュニティの活動について 資料4 インターナショナルセーフスクールの全校化等について 資料5 通園・通学時の安全を守る取組みについて 資料6 委員名簿
公開の 可否	会 議	☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部非公開 傍聴人数 2人 非公開・一部非公開の場合は、その理由
	会議録	☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部非公開 非公開・一部非公開の場合は、その理由
出席者	会 長	区長 高野 之夫

(順不同、敬称略)	委員 【区内 団体】	池袋西地区環境浄化推進委員会委員長 外山 克己 豊島区商店街連合会会長 足立 勲 豊島区町会連合会会長 田中 幸一郎 東京商工会議所豊島支部会長 鈴木 正美 豊島区観光協会名誉会長 齊木 勝好 豊島区観光協会会長 近江 正典 豊島産業協会会長(代理) 井本 健司 豊島区民生委員児童委員協議会会長 寺田 晃弘 豊島区障害者団体連合会会長 磯崎 たか子 豊島区高齢者クラブ連合会会長 外山 克己 豊島区保護司会会長 高埜 秀典 豊島区医師会会長 高橋 清輝 東京都豊島区歯科医師会会長 高草木 章 豊島区薬剤師会会長 遠藤 信一郎 豊島区町会連合会副会長(第1地区) 照内 義雄 豊島区町会連合会副会長(第2地区) 岡部 俊夫 豊島区町会連合会副会長(第6地区) 池田 好雄 豊島区町会連合会副会長(第7地区) 田中 英治 豊島区町会連合会副会長(第8地区) 市川 幸雄 豊島区町会連合会副会長(第9地区) 塚田 義信 区民ひろば朋有運営協議会会長 渡邊 孝雄 NPO法人ひろばさくら理事長 本山 美子 巣鴨地区民生委員児童委員協議会会長 吉田 英昭 池袋西地区民生委員児童委員協議会会長 武藤 節子 巣鴨防犯協会会長 吉井 公明 池袋防犯協会会長 岡部 俊夫 目白防犯協会会長 森田 晴久 池袋母性協会会長 波多野 まつ江 池袋組織犯罪根絶協会会長 菅澤 省吾 目白母の会会長 田島 芳子 日本ガーディアン・エンジェルス理事長(代理) 石井 剛 池袋防火防災協会会長 恩田 幸正 豊島消防少年団団長 鈴木 謙二 池袋消防少年団団長 西野 浩通 NPO 法人おおきな木理事長 直井 浩 豊島区体育協会会長 服部 浩久
------------------	---------------------------	---

	豊島区ラジオ体操連盟会長 岡 威典 豊島区スポーツ推進委員協議会会長 寺門 孝史 元日本ボーイスカウト豊島地区協議会会長 青木 輝彦 東京都宅地建物取引業協会豊島区支部社会貢献委員長 藤岡 千之 東京都建築士事務所協会豊島支部支部長 小山 清弘 全日本不動産協会豊島・文京支部長（代理） 端 厚 巣鴨交通安全協会会長 伊藤 勝利 池袋交通安全協会会長 山本 昇 目白交通安全協会会長 織本 真一郎 池袋交通少年団団長 今田 充保 豊島区立中学校PTA連合会会長 木原 昌俊 豊島区地区青少年育成委員会会長（第5地区）（代理） 鈴木 謙一 豊島区地区青少年育成委員会会長（第6地区） 根岸 幸子 豊島区地区青少年育成委員会会長（第7地区） 白熊 千鶴子 豊島区地区青少年育成委員会会長（第11地区） 山本 道子 池袋四丁目町会会長 平田 光子 豊島区肢体不自由児者を育てる会役員 京谷 光子 目白地域交通安全活動推進委員協議会会長 唐澤 和子 としま女性会会長 堀 恵子 NPO 法人豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク理事長 栗林 知絵子 川村学園女子大学 事務室長 津野 宏之 大正大学 地域構想研究所事務部部長 井上 隆信 帝京平成大学 池袋キャンパス総務課長 江川 猛 東京音楽大学 事務局長（代理） 赤木 由美子 立教大学 総務部総務課担当課長 鈴木 敦 豊島区民社会福祉協議会事務局長 天貝 勝己 豊島区社会福祉事業団理事長 横田 勇 豊島区シルバー人材センター事務局長 陣野原 伸幸 社会福祉法人フロンティア理事長 水島 正彦 公募委員 平田 光子 公募委員 宇田 みさ保 公募委員 大辻 栄子 公募委員 藤崎 優子 公募委員 赤松 誠子 公募委員 松原 明美 公募委員 平井 千鶴子
--	---

		公募委員 柴田 泰孝 公募委員 鍋倉 テイ子 公募委員 石川 サチ子 公募委員 三矢 香織
	委 員 【官公 庁】	池袋労働基準監督署署長 岩出 順一 警視庁巣鴨警察署長 佐藤 健二 警視庁池袋警察署長 劔持 一弘 警視庁目白警察署長（代理） 木内 昭朗 東京消防庁豊島消防署長（代理） 橋本 浩 東京消防庁池袋消防署長 永野 義武 東京都第四建設事務所所長 原田 和生
	委 員 【セー フスク ール認 証校】	豊島区立朋有小学校 稲垣 昌弘 豊島区立池袋第一小学校 高橋 慎二 豊島区立富士見台小学校 酒井 由江 豊島区立高南小学校 高木 康子 豊島区立清和小学校 坂本 晃治
	委 員 【ＳＣ 対策委 員長】	子どものけが・事故予防 青木 輝彦 高齢者の安全 伊藤 登 障害者の安全 長谷川 則之 自転車利用の安全 唐澤 和子 DV の防止 （代理） 橋本 初江
	委 員 【区】	副区長 齊藤 雅人 副区長 呉 祐一郎 教育長 三田 一則 政策経営部長 金子 智雄 総務部長 佐藤 和彦 区民部長 上野 仁志 文化商工部長 藤田 力 国際文化プロジェクト推進担当部長 小澤 弘一 環境清掃部長 柴 俊之 保健福祉部長 常松 洋介 健康担当部長 檜原 猛 池袋保健所長 植原 昭治

		子ども家庭部長 田中 真理子 都市整備部長 奥島 正信 地域まちづくり担当部長 宮川 勝之 建築担当部長 野島 修 土木担当部長 原島 克典 教育部長 兒玉 辰哉
	区職員	治安対策担当課長 澤田 浩禎 セーフコミュニティ推進室長 渡邊 明日香 総合高齢社会対策推進室長 直江 太 危機管理担当課長 五十嵐 友

【1 開会】

（司会）

令和元年度豊島区生活安全協議会及びセーフコミュニティ推進協議会並びに、新たに発足した総合高齢社会対策推進協議会の3協議会を開催する。本日の会議は、本年4月19日に発生した豊島区東池袋の自動車事故に係る案件があることから、メディアの取材が入る予定となっている。新委員の紹介については、新委員の方が多くおられる中、時間が限られていることから、資料6の委員名簿にて発表に代えさせていただく。

本日は議事に入る前に、4月19日の事故でお亡くなりになられたお二人のご冥福をお祈りし、皆様と黙とうを捧げたい。

<全員 黙とう>

（区長あいさつ）

平成26年度に消滅可能性を指摘された本区は、今、子育て世代、女性から選ばれるまちに大きく変化してきている。一方で、益々高齢化が進む中、高齢になっても住み続けたいまちでなければならないと考えている。今年度から「生活安全協議会」、「セーフコミュニティ推進協議会」に加え、新たに「総合高齢社会対策推進協議会」を発足し、委員の皆様には3つの委員を兼ねてご参加いただくこととした。

本区は人口密度が日本一、一人暮らし高齢者の割合も日本一高いことから、他自治体よりも一歩も二歩も先んじた対策が必要である。昨年8月に私を本部長とするプロジェクト本部を立ち上げ、総合高齢社会対策に着手したところだが、今後この協議会の中で様々な立場の皆様からご意見、ご協議を賜りながら進めていきたいと考えている。

また、4月19日の東池袋の事故に関して、高齢者の免許返納等について、区としてもできる限りの対応を行うとともに、募金を集めて慰霊碑を設置することといたしたい。区民はもちろん、国内外から訪れる方々に、安全・安心なまちを実感いただけるよう、セーフコミュニティの取組みをさらに継続、充実してまいりたいと考えている。新たに総合高齢社会対策を含む豊島区の安全・安心まちづくりについて、引き続きのお力添えをお願いしたい。

【2 総合高齢社会対策の取組みについて】

説明：総合高齢社会対策推進室長（資料1）

【3 安全安心に向けた取組みについて】

説明：治安対策担当課長（資料2）

【4 今年度のセーフコミュニティの活動について】

説明：セーフコミュニティ推進室長（資料3）

【5 インターナショナルセーフスクールの全校化等について】

説明：指導課長（資料4）

【6 通園・通学时等の安全を守る取組みについて】

説明：子ども家庭部長・教育部長・土木担当部長・池袋警察署生活安全課長（資料5）

【7 東池袋の自動車事故に係る慰霊碑の設置について】

説明：区長・総務部長

区長より慰霊碑設置の提案があり、委員一同に了承いただいた。

【8 質疑応答】

（質問者）

先ほどの、通学路防犯カメラは、町会や商店街で設置している物と重複しないのか。また、通学路の安全に対する取組みについて、合同点検・学童安全指導員の配置・防犯カメラの設置の話があったが、その他にどのような取組みを行っているか。

（回答者）

防犯カメラの設置については、町会や商店街で設置しているカメラの位置を防災危機管理課から情報を得て、位置が被らないようにしている。また、設置に当たり町会や地域の方々が委員となっている学校運営連絡協議会でご意見ご要望を伺い、重複しないよう、効果的な場所に設置するようにしている。

その他の取組みについては、例えば、安全安心メールというもので、保護者が登録をすることで学校から不審者情報等の緊急の連絡をして情報共有する取組みや、防犯ブザーを入学した一年生に無料で配付する取組みなどを行っている。また、スクールガード養成講習会ではPATや保護者、地域の方々が参加し、警察の方々から講習会をしていただくことで、不審者対応や交通安全の講習をして、安全教育に役立てている。それから、地域の方々にご協力していただき、何かあったときは安全を確保するために児童・生徒が駆け込んで、立ち寄れるような、子ども110番の家を地域の通学路上で実施しており、現在、1,300軒程のご協力をいただいているところである。

（質問者）

保育士の皆様が、子ども達を連れて日々の散歩で通る道路には危険な箇所も少なくないと思うが、そういった危険箇所を区はどのように把握し、どのような安全対策を行っ

ているのか。危険箇所を記載したマニュアルを各保育園に守らせるために、区はどのような取り組みを行うのか。

2 点目として、今後の安全対策として、警察や国、都の道路管理者等と連携していくことだが、区はそういった関係機関へどのように働きかけていくのか。そして、子ども達の安全を守るために地域で支援できることはあるか。

(回答者)

1 点目について、区では5月の大津市の事故の後、全保育園に対して、園外保育マニュアル・移動経路の再確認を要請し、危険個所の報告を求めた。報告のあった個所は、延べ約120箇所あり、この危険個所については、区立保育園の園長経験のあるベテランの職員が、1件1件確認を行い、それぞれの保育園に指導・助言を行っている。また、マニュアルを守るための取り組みとして、抜き打ちで全保育園に対して巡回訪問を行い、日々の園外保育が、マニュアル通り行われているかどうか確認をしている。

2 点目の、関係機関への働きかけについては、各保育所で作成しているお散歩マップを基に、区全域にわたるお散歩の経路と、危険個所が分かるような全域の地図を作成して、そちらを関係機関の皆様へ情報共有をしたいと考えている。また、散歩に出ている子どもたちや保育士に対しては、地域の皆様に温かい目で見守ってもらえると、何よりの支援になると感じている。できれば、自転車に乗っている方は歩いて通行し、ドライバーの方は徐行運転していただくなどのご協力をお願いしたい。

(質問者)

慰霊碑の設置について要望させていただきたい。町会連合会は、12支部、129町会ある。その中に26の区民ひろばがあり、区民ひろばの中には募金箱を設置していただくということで、皆様方協力していただけるのではないかと思います。町会連合会は、善意の募金として、日本赤十字社、赤い羽根募金、歳末助け合い運動、この3点を個別に、善意の募金として集めさせていただいている。町会連合会だけでも、その募金額は各募金1千万円くらいになる。今回、1千万円の目標だというようなお話が出たが、1千万円と言わず、もっと立派なものにしてはどうか。また、その協力をどのようにまとめたらよいか。行政の方で町会連合会にお願いするというような、案があればお示しいただきたい。

(回答者)

今回の募金については、町会や、会社のような事業所単位、そういった様々な単位で募金をして頂いて、お近くの区民事務所や豊島区の区民活動推進課等にお持ちいただければ、しっかりと取り扱いをさせていただく。町会連合会全体に、ご協力をお願いするかという事については、区の方から正式に、何らかのお知らせを差し上げたいと思うので、是非ご協力をお願いしたい。

先般、議会でも今と同じように、募金が目標額を上回った場合どうするのかといった、質問をいただいた。その際、この募金は、あくまでも今回の交通事故ための募金であるということを答弁している。全国の様々な慰霊碑を参考にさせていただき、どのような慰霊碑を作れば、遺族の思いが現れるのか、この募金が本当に生きたものとして全国に広がって行くような取り組みとなるよう形にしていきたい。

（質問者）

高齢者に優しいまちづくり日本一を目指すという取り組みの中で要望がある。高齢者クラブの活動の中には、健康を維持する、あるいは社会貢献をするといった事業の他に、生きがいを持ってもらう事業が大きな取り組みの一つになっている。そのため、今回の施策を考えていただく中に、高齢者に生きがいを持たせる事業に取り組んでいただきたい。

今年の１月１日現在の豊島区の６５歳以上の高齢者は約５万７千人いる。高齢者が全員元気で生活できるまち、それが、ある意味では、日本一の町のイメージではないかなと考えている。豊島区では、としまる体操などの色々な事で健康に留意するような施策も実施しているので、それはもちろん是非進めていただきたい。病院が近くにある、あるいは特養が沢山ある、それもまちとしての一つのいい面かもしれないが、そういう所を必要としない高齢者をつくるという部分で施策を考えていただきたい。

（回答者）

そのような形で進めてまいりたい。

（質問者）

我々高齢者自身も、健康の管理など、あらゆる努力をして、少しでも長生きして、皆さんに迷惑をかけないような心がけが大事だという風に思う。

【９ 警察署長挨拶】

（池袋警察署長あいさつ）

【１０ 閉会】